夕刊 磐城新聞
一月二十四日發行
定價 一ケ月金五十五錢
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇六五八五番

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晩も明日も北西の風晴

閑語句漫筆集稿

天麩羅考 (38)

大井川幸隆

私が禁錮で下獄した當日に体重を計られたが、七二・五瓩――一九貫三〇〇匁――であつた。それが出獄の直前に再び計られた時に五八瓩――一五貫四〇〇匁――に減つてゐる。禁錮とは云つても僅かに三ケ月できる、九十日間に四貫匁の体重が消し飛んでゐるのだから日割に見れば毎日四十匁づゝの減量である。ゴを牛肉の相場にしても日々四十錢、三ケ月で三十六圓也となる。出獄して三十六圓分の好餐を食つたところる退勢を挽回出來るといふ都合のよい譯には行かないと考へれば無念といふ氣がしないでもなかつた。

それは兎も角として、甲の飴をもつて自ら任じてゐた私だから在世中?は澀は欠かさずに飲み、脂肪の含んだものは大の嗜好物であつた。然かし、服罪者が勝手なものを食へる譯もなし、禁錮刑は作業に從事しないだけに食量も尠い。私は常に空腹を感じてゐたが、これは私の身体が必要なだけの榮養を要求してゐたのである。

空腹な時には、曾つて食つたことのある好物があれやこれやと思ひ出され、出獄したら先づアレとアレと腹一杯に食つてから――といつた空想を逞しうする。私が、就中、最も食ひたいといふ術懸け『てんぷら』に目指されてゐた『てんぷら』は私の好物の裡でも屈指のものゝ一つであり、『てんぷら』のような脂肪に對する生理的な要求が必然貪婪なくざるを得なかつたのでもある。日本人にして『てんぷら』が嫌ひだといふ人は凡そ無いといつてもよい位『てんぷら』の食味は歡迎されてゐると思ふ。歐米人が日本に來遊して最初に箸をそめるものは、てんぷらであり、日本料理中で歐米人の味覺を最も滿足させるものも、てんぷらであり

●日本料理中で歐米人の味覺を最も滿足させるものも、てんぷらであらう。チャーレー・チャップリンが日本を訪ねた時、彼はてんぷらの有つ味ひに魅了されて、ゴマ油を持ち歸つたが、それかあらぬか、昭和八九年頃からゴマ油のアメリカ輸出は驚異の數字を示し、ヤンキーの間にはてんぷらが賞味され且つ又普及されるに至つた。支那事變の前でさへ、一般物價から攫んで高騰價格を示したものはゴマ油であつて、ゴマ油高騰の主因は輸出増大にあつたことは言を俟たない。

初冬海村吟
伊良子清白

○冬の陽の照りしみらなる磯堤陽の匂ひする石によりて添ふ

○磯にをり石にもたれて時久し潮照りの中に鷗一つ飛ぶ

○潮筋の光しみみに磯を流れ角栖の杭目路に陽炎らふ

○角栖の杭に干潮て海底を巡航船の水脈いちじるし（角栖は方形の定置網）

○[illegible]過ぎの海にはすこし風出でぬこの岸に寄るさざら冬波

○

妻とすなる日記始や莘
大根 死 全

1月25日

△百官跪伏の禮を廢す(慶雲元)△僧源空寂す(建暦二)△宇垣大將參內組閣の大命を拜す(昭和一二)△双葉山四場所全勝の覇業成る(同一三)

伊勢物語に表れた歌 (4)
丘生

さて、作者は更に行き行きて、駿河國まで來た。そこの宇津の山路にさしかゝると、道は暗く細く、蔦かづらは茂つて誠に心細い。辛い目に逢ふことよと思つてゐると一人の修行者が來るのにあつた「どうしてこんな所へ」といふのを見れば知つた人である。そこで京都に住む戀しい女の許へ文をことづけ、それに次の歌を添へてやつた。

駿河なるうつの山べのうつゝにも夢にも人のあはぬなりけり

駿河國の宇津の山邊まで來たが、こゝは道がひどくて、どこも夢を結ぶことさへ出來ない、だから現には勿論、夢にさへも戀しいあなたには逢ふことがない、さびしいことだ、といふのである。こゝでも例によつて『宇津』に『現』を懸け『いと暗う細きに蔦かづらは茂りて物心細く』といふ語調に、夢にさへもあなたに逢へないといつて、しきりに京へ殘した女に思慕をよせてゐる。

講談

恩讐無道 (10)

久我荘多郎
香川三十代畫

―天の巻―
彰義隊潰滅 (十)

專藏は、經机に向ふてゐた目を上げて、そこに浮いた白い顏が誰であるかを見究めると、

『何をしに來た?』

と、つめたくいつた。

茅江は、その口調にいつぱいの憎惡が凝められてゐ

ふのを知つて一瞬にして、胸へ逆ゆるやうな悲しみを味はつたのである。

美しい夢が、破れたわけだ。兄に逆いてこゝまで來たのは、こんなつめたい言葉を聞くためでない。專藏のこゝろを、もつと美くしいものに考へてゐた。

兄と自分とは、立場が違ふのである。專藏が怒つたのは、兄へ對してゞあつて自分ではなかつた筈だ。その兄ゆえに、自分の戀ごゝろを犠牲にする必要はないではないか――ゆ[illegible]じうともせず考[illegible]

た。

兄に逆くことは、惡いと知つてゐる。けれど、專藏を捨てることは、彼女に忍びなかつた。ち江は何處にも寛大である兄の心を、たつた一つ心だのみにして、

(兄上さまは、お許し下さるであらう)

と、それを祈つて、山へのぼつて來たのだ。

專藏の、あたゝかい言葉に、愛撫に、あこがれて――

しかし、その專藏は、噓のやうにつめたい目にたつて、

『何をしに來た?』

といふのである。

希望も幸福も、何も彼もが、とつさに崩れてしまつたのだ。

ち江は、不意に支へ棒を取り去られたやうに、くた\/\とその場へ坐つた。

『……あたし……』

聲は、ふるへて、かすれる。はや熱い涙が頬を濡らすのである。

『わたしは……』

『わたしには、一切用のないんだ。歸つてくれ』

それだけいふと、專藏は首をねぢて、經机の上で経を執り上げた茅江の方をふたゝび振返らうともしない邪慳さである。

ち江は、必死に言つた。

『專藏さま……あたし、あたしは……』

きれぎれに、あとは、さめ\/\とした涙だつた。

專藏が目をうごかして、そのち江を見た。

ぐつきりと疊の上へ身を伏せて正體なく泣いてゐる美しい姿が、この薄暗い部屋いつぱいに、たゞならぬ甘さをにほはせてゐる。黑天鵞絨の帶に括つた靭やかな胴はくの字なりに曲つて白い美しい襟脚がほのかな艶やかさをもつて震えてゐる。

――さて、その雪のやうな肌に薄皮一枚下をのぼつてゐる淡紅の血の色が、うのすらと、香高い酒の醉ひほどに散つて見えるのだよと、專藏の胸に、惡魔的な殘忍の血が湧いた。

一途なち江の氣は、わかるが、總介に對する憎しみは、一本氣な專藏にとつてちえにも通じるわけだ。坊主憎けりや、の譬へである。

專藏は、兄妹に向けた憎しみの決算を、ちゑの清じゆんな魂を踏躙ることによつて、その體を弄ぶことによつて、片附けやうと思つた。

にはかに、胸があつくなる。

『ちゑ』

專藏は、腕をのばすと、ちゑの肩をつかんで引越した。ぐツと指先に力を凝めて、別な片手で靭やかな胴を、骨も折れよとばかり抱きしめた。

ちゑに、突然の男の狂暴な力のなかで、苦痛とも歡喜ともつかぬ表情で、淚で一面にぬれた顏を上げた。形ちのいゝ朱唇が、わなわなと戰ひてゐる。

第一線の慰問品ニハ
見不知羊羹と湖の華
平市五丁目
泉屋菓子店
電話六六八

日本石油株式會社特約店
[illegible]石油株式會社石油特約店
福島縣平市一丁目(電話六十一番)
株式會社[illegible]商店平支店
本店 茨城縣下館町 電話五五、三三九番
支店 茨城縣七浦町田宿 電話六五三番
茨城縣久慈町 電話一三七番
茨城縣多賀郡關本驛前 電大津一四七番 電平潟五四番
福島縣四倉驛前 電話四八番
福島縣小名濱町
油槽所(常磐線泉驛前)
海岸給油所(大津港、平潟港、江名濱、土浦町新國道日本石油給油所)
ガソリン給油所(電話八二番四)

根本産婦人科醫院
(病室完備 入院隨時)
平市南町五二
根本荘次郎
根本貞雄
電話三四番

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

ダイナモ
バッテリー
四氣筒六氣筒
マグネット
礦山用エンヂン
久野電機
平市紺屋町五三
電話七二一番
振替東京一五、一〇四番

旅舍 大幸館
私は平市出身ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄
電話下谷(83)六七七番
東京上野驛前(下谷郵便局横通角)

ラヂオの故障は―放送局指定相談所へ
御買求めは……測定装置技術完備の弊店へ
日本放送協會指定
ラヂオ相談所
HK型受信機配給所
富永ラヂオ店
平驛前 電話四九六番

國はニッポン、魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣 平製氷社會 (電二二八・三三六)
タヒ 甘鯛
エビ マナ鰹
白魚 帆立貝柱
冷カヅノコ ウニ貝焼
ヒノマル凍魚
平代理店 四丁目 卸 魚問屋 電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

▼……出前迅速
御料理
むぎとろ
是非!御試食下さい
平市田町紅小路
さつき
電話四八八番

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
洋和結髪
オゾン美顔術
御染髪洗毛
美爪術
電話 六七八 營業所 五二五 自宅
平市驛前
水野化粧院

故障の起らぬ
原口のラヂオ
擧つて國防…揃つてラヂオ
ラヂオは是非――
専門店……へ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目 (警察署通り)
電話(呼出) 166

和洋
建具 家具 テーブル 椅子
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します。
諸官衙 各學校 御用達
製作販賣
平市五丁目
片寄製作店
片寄小彌太
電話四八四番
十五、六歳見習職工 職工募集

平病院 (平市元共濟病院跡 電話六四一番)
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 小兒科 院長 鈴木定藏
内臓外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
……診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス(急患ハ此ノ限リニアラズ)

吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
平市紺屋町 電話六八番

七千の小額所得層 代表廿三名を選擧
磐炭健保 逐鹿戰線 漸く色めく

早春新話題

大炭礦をはしめ地方の工場礦山に於ける健康保險組合は被保險者たる勞働者階級の經濟上の不安を除去して經濟生活に餘裕を生せしめ、從つてその敎養を高めしめる(二)勞働者が傷病の療養、早期診療、豫防施設等の便宜を受ける結果產業能率の增進を來す(三)勞資の協調により產業上の好影響を受ける(五)勞働者階級の自助精神並に權利思想を培養し、勞働者敎育の一助となる等一定範圍の小額所得者に對し最も吃緊の施設として逐年健全なる發達を示しつゝあり、組合目的の遂行に調する諸般の事業は今や各所共極めて重要の一部門となつてゐるが從つてその代表機關たる組合議員の選擧に就ては組合員の給付金、主張其の他利害休戚に直接關係ある問題として眞に自已の代表たるに足る人物を擧ぐる必要ある處から常に相當の關心を以て迎へられその都度普通自治体等とはまた一種異つた選擧風景を展開し來つたが地方最大の組合として一層この勞働選擧の特異な色彩が濃厚である磐炭組合では來る三月十五日全山約七千名の有權者により議員廿三名の選擧が行はるるので既に各方部夫々の動きを見せて來た。時局柄徒に虛名を馳せんとする蝸牛角上の競爭はあるまいとは云へ、或る程度の活況を見するものと豫想され

強盜犯檢擧 署員表彰

平署では既報の如く今月の署員出署日に小名濱の强盜及び探偵小說作家崩れの剃刀强盜犯人等を檢擧した『殊勳甲』の署員に對し警察部長特賞の授與式を擧行する筈であつたが都合で延期、來月の出署日に擧行の豫定である

鍛冶工業組合結成

平、湯本、四倉、內郷市町村鍛冶工業組合設立に關する縣の指導會は此程市會議事室で縣工業組合小林書記臨席の下に開いたが出席三十餘名『石城鍛冶工業組合』として設立準備に着手

蓮沼社長講演續く 多忙な日程再展開

年末から年始へかけ一時息をぬいた蓮沼本社長の鮮滿支產業視察、北支皇軍慰問の講演は今春に入つてからも歸省の序を以て去る二十日は郷里栃木縣足利郡[illegible]村に於て、一昨二十二日は隣村休泊村に於て何れも地元役場外各種團体合同主催の下に開かれたが來る二十九日午後一時から市內平窪方部各團体の爲に平窪小學校で開催する外、不日市第一、第二兩小學校高學年兒童の爲にも同樣講演する事になつてゐる

勳章傳達

今次事變の華―市內紺屋町出身高橋正君に對する功七旭八の金鵄勳章傳達式を二十四日市役所で擧行 尙市內仲間町出身の上等兵鈴木一生君の功七旭七の勳章はその遺族が豐間村に轉住したので村役場から傳達

。。。。。恤兵金寄附 市內立町上組納稅組合員四十名は恤兵金十圓を醵出、代表鈴木四郎から市役所へ寄託

。。。。。市方面委員例會 二十五日開き隣保館敷地其他を協議

ランプヤ君哀悼譜
本紙所載『平町新風景』一場面

ランプヤは死んだ。平つ子にとつて蓋しどうでも良かつた殘り齒が脫けた位の寂しみはある。以下その憶ひ出の記(六、二七日本紙所載『平町新風景、縱一本の乞食』である

山總元締であらねばなりません。昨今の梅雨どきにしつとりと濕つて宛然堆肥の樣な臭氣を發散するあのカ六ジメの樣な而も徹底的なオンボロ・サンボロよ!

〇

軒傳ひ一軒々々間口を廣く外交(?)し行く物乞ひを橫の乞食と呼ぶなれば、彼は飽く迄縱の乞食であります。彼は廣い範圍から貰はうとはしないんです。いつ如何なる動機によつて世にも奇して奇緣が結ばれたものか、彼は自分の見込みをつけた家の軒先以外には絕對立ちません

〇

その外交方針が所謂縱一本の乞食である。彼は、希望通りに要領を得ないからとて直に其所を立ち去ると云ふ移り氣を起しません。十年一日の如きプランを最も忠實に辿つて居る彼にとつて一日一回その軒さきへ立つ事は少くとも命がけの事業であり、そして淚ぐましい宗敎なのであります

〇

殘飯、殘肴、澤庵の切れ端し。そうしたその日の收穫が、雜然混然として彼の掌に高層建築の最高記錄を齎す時、滿たされたものゝみの知る心の平安を覺えた彼は—牛肉店のイ立を最終としてT銀行の甃石に安息の天地を見出します。彼にとつて—バンクの其の場所こそは、眞に砂漠を行くキヤラバンに一種のオアシスなんであります。

〇

自動車、自轉車、醫者、記者、醫者の行き交ひ梭の如き世相の動きを、顏面神經一つ微動だにせず、泰然凝視を續けてゐる時、夕闇は靜かに彼の身邊にも迫つて來ます。彼の日課は之を以て完全に了りました。銀行の角を右へ折れて一路大舘へ!小刻みに行くその足どりの疾い事よ!彼去つた後の平町は、再た明日の彼を迎ふべく、いとも靜かに夜の帳に褒まれて行きます。

× × × × ×

兒童の―將來を誤らぬやう 父兄や學校と懇談
巣立ちの春近づく

卒業の春を控へて平職業紹介所では既報の如く管內連絡小學校から求職兒童を取纏める一方各地からの求人一覽表をその都度學校に送り就職斡旋の萬全を期してゐるが愈よ卒業期も切迫したので兒童の將來を誤らぬやうその父兄、學校當局と膝つき合せて兒童の個性其他を檢討職業斡旋上の參考資料とすることゝなり二十六日の小名濱小學校を手はじめに外數ヶ所で懇談會を開く筈である

傳染病豫防 檢便

平署では傳染病撲滅に資するため昨年中のチフス、パラチフス患者の檢便を行ふ罹病者は二十六日迄に平細菌檢查所へ屆出けられたい

同署管內昨年中の患者はチフス百四十二名、パラチフス十六名、病原保有者は十六名でうち平市が一名

賣店と商品陳列所 公會堂の新設備

市公會堂內にこんど賣店と商品陳列所が設けられることゝなり市當局では二十四日午前十時から委員會を開いて相談した 賣店は東北隅(階上入口)邊に場所を相し煙草やキヤラメル等を賣る。又陳列所は商工會邊りと連絡して品目を決定、これは二階の適當な場所を選ぶ方針であると

國民登錄の陣容成る
きのふ新廳舍に引き移り 忙しい平職業紹介所

國民登錄――即ち國民職業の能力申告令は本月七日勅令を以て公布され、同二十日から實施された、平職業紹介所でもこれと前後して愈よ昨二十三日市役所構內の廣い新廳舍に引き移つて直ちに準備態勢に入つたが些か當面の惱みはまだ申告用紙の取り揃はぬ事でこれが到着次第一齊に配布の上受理を開始することゝなつてゐるが何せ新法だけに適正迅速に國民の申告義務を盡させ且つ違反なきを期するには最も細心な注意が必要であり同所では先づ地方各炭礦及び錦村昭和人絹小名濱町日本水素工場、四倉町セメント工場等該當者を多數擁する場所でこれが研究會を開き、立澤所長が詳細說明に當る筈である

尙右登錄開始に伴つて新に增員される所員十二名は今明日中發令される模樣である

東北物產展に出品

市では二十四、五の兩日神戶市で開かるゝ第三回東北振興物產見本市にムシカマド(石山忠三)玩具(佐藤誠)わかめ(金成泉一郎)健康サル又(牛久英)染物(鈴木留五郎)を出品するので二十四日午後一時から出品打合せ

白井次席着任

警部に昇進縣刑事課次席から平署次席となつた白井保壽氏は昨二十三日午後着任 今二十四日關係各方面に挨拶

片倉從業員に賞狀

片倉製糸磐城工場では來月十二日市公會堂に優良從業員の表彰式擧行

陣中を聽く (322)
敵スパイの暗躍に少しも油斷出來ぬ
四倉町出身 門馬敏勝君(通信)

銃後の御活躍、御奮鬪の由大慶至極に存じます。殊に御多忙中にも不拘軍人家族に迄度々の御慰問御激勵感淚の外御座いません。お蔭樣にて其の後益々頑健及ばず乍ら御國の爲東洋平和の爲に第一線の一員として御奉公致して居りますから他事乍ら御放念下さい。顧みますれば昨年七月皆々樣の厚い歡呼の聲に送られて出征して早や七ケ月。所ろ〲の戰鬪に參加、今は支那の中心支那の〇〇と迄謳はれた、大都市に駐屯〇〇〇大任務を頂き晝夜の區別無く、其の日〲の任務を果して居ります。〇〇都市陷落後、四日目で入城致し、其の當時は身震ひする程な生々しい空氣が漂つて居りました、支那人は思ひの外多く部隊に少々、部隊の近邊又は軍の使用地附近には晝夜の區別無く敵スパイの放火あり我々は一時として心を弛めたことはありませんでした。其の他外人租界も多く殊にフランス租界などはいとも嚴重な警戒を致し居り實ににくらしくてはありませんか。此租界は却つて日本軍を歡迎する位に思はれます又日本租界に行つて見ると實に驚くなかれ、何んと云つて良いやら見るも無殘な有樣であります、片端からメチヤ〱に破壞されて滿足にした建物に一つとして無いではありませんか、おまけに〇〇〇などは影も形もありませず實に無殘です。こうした日本街を見るたびに我々の心ろは一層ひきしめられます。入城致して半月目頃からは電燈も點き水道も出るやうになりました此の〇〇は水の便は誠に惡く、水道以外には殆ど水は無く水道出る迄の十四五日は實に苦勞致しました。

× ×

とんだ生活改善幹事ドノ また折カバン失敬
平署の追究で餘罪二つ

既報、平驛待合室で折カバンを搔拂つて檢擧された自稱生活改善同盟幹事弘前市和穗町白牛こと福井藤太郎(六七)は取調べの結果去る二十日午後二時頃同樣平驛待合室で植田町添野下遠野幸太所有の手提カバン(額面五百圓の貯金通帳其他現金等百圓在中)を竊取した外飯坂溫泉菜旅館で約十日泊り宿料五十圓を蹈み倒したことも自白

藤太郎は若い時分相當の家柄の養子となつたが身を墜し最近では前記肩書名刺を振り廻して各地の驛等で講演等を行つてゐたもの

。。。。慰問袋發送 市では國防婦人會の手を經て前線への慰問袋を募集してゐたが三百八十個に上り一兩日中發送

。。。。入場稅指示 平稅務署では二十六日午後一時から入場稅取扱ひに關し該當業者に指示注意を行ふ

滿洲巡查試驗

滿洲國警察官吏の採用試驗が來月二十四、五兩日本縣警察練習所、二十七、八兩日郡山署で行はれる 資格は二十二才以上三十才迄、試驗科目は國語、數學、東洋史(日本滿洲近世史)滿洲地理、作文常識

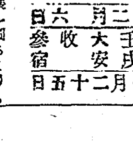
現在屆出で十四名
日本刀鑑定近づく

平地方に於ける日本刀の軍刀適否識別は既報の如く來る二十八日午前九時から十時半まで平市會議事堂に開かれるが市役所調査の日本刀所藏家は現在左記諸氏である

杉平仲村辰四郎、三丁目久野ひさ、長橋町關內信二郎、同中村政、北目町新妻滋造、六間門三村酉次、同神長倉春造、月見町根本一馬(以下二丁目)柏原眞吾、長島菊苗、中野庄吉、白土茂平、坂田藤助、鈴木民治

坑夫慘死

好間村北好間日曹小田炭礦ポンプ係常泉周吉(三八)は二十四日午前四時頃坑內で炭車と衝突死亡



新 一月二十五日	水曜	壬戌	大安	收	參宿	舊十二月六日

▲一白 無理な發展を圖るよりも整理する方が勝ち▲二黑 平和なれど無爲に移らぬ樣に努力すべき日▲三碧 質朴にして浮華に流れず物事手堅くすべし▲四綠 たい風中を走るが如し前後左右上下皆な注意▲五黃 物事しん重に一擧手一投足もおろそかにすべからず▲六白 木の芽がめを出し追々のびる樣な運氣の日▲七赤 言ふ所人に用られ且つ引立てにも逢ふべし▲八白 退運の時期なるを以て無理を押すべからず▲九紫 確く信義を守る時は貴人の信用を受くべし

玉屋眼鏡店

外科、內臟外科 エツキス光線科 一新設一 產婦人科 院長 安齋 稽 醫學士 黑澤 廣 入院隨意 平市田町 安齋醫院 電話四七五番

銘木(床ノ間材) 天井板、ベニヤ板買ふなら確かに御期待に添ふ良品廉價の 織田材木商店へ 福島縣平市 電話平四六〇番
一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試しを乞ふ
營業種目…建築木材一式 銘木。ベニヤ板 秋田產杉四分板 建具材。便利瓦
◎小店員募集 年齡十五歲ヨリ廿歲迄

生徒募集
昭和十四年度募集人員
本科……(修業年限二ケ年)五〇名
技藝科……(修業年限二ケ年)五〇名
專攻科……(修業年限一ケ年)二〇名
各科二年……補欠入學生 若干名
入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ三月三十一日迄ニ提出下サイ、入學試驗ヲ行ハズ願書受付順ニ入學ヲ許可致シマス
入學式ハ四月一日擧行致シマス
規則書請求ノ場合ハ返送料トシテ郵券切手參錢送附ヲ願ヒマス
平市揚土小路二十番地 文部大臣認可 平陽女學校

耳鼻咽喉科專門 醫學士 鈴木正顯 平市田町(電話五八番) 磐城女學校前

齒科口腔外科 『入院のお需めに應ず』(看護婦及び見習看護婦募集) 日本齒科醫學士 鈴木 政 內郷村高坂 磐炭病院前 鈴木醫院

耳鼻咽喉科專門 平市南町一六番地 大和田醫院 電一七〇番 (入院隨意 病室完備)

新春の―小瀧は招く 一日の清遊には……どうぞ小瀧へ! 鐵道指定旅館 割烹 小瀧 電話小名濱一〇三